エコアクション21

環 境 経 営 レ ポ ー ト

令和5年度

（活動期間：令和5年7月～令和6年6月）

Yamashitagumi

株式会社　山　下　組

作成：令和6年10月31日　　（17期）

目　　次

Ⅰ　組織の概要

Ⅱ　実施体制

Ⅲ　環境経営方針

Ⅳ　環境経営目標　　(5年度目標値、中期目標値)

Ⅴ　環境経営計画　　(R5.07 ～ R6.06)　　取組結果とその評価、次年度の取組

Ⅵ　環境経営目標の実績とその評価、次年度の環境経営目標

Ⅶ　当社の取組み

Ⅷ　環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟などの有無

Ⅸ　代表者による全体の評価と見直し・指示

Ⅰ　組　織　の　概　要

1　事業者名　　株式会社　山下組

2　代表者名　　山下　正之

3　所在地　　本　　社　　静岡県菊川市柳一丁目127番地
本所倉庫　　静岡県菊川市本所1-1

4　事業活動　　建設業
土木　とび・土工　石　鋼構造物　舗装　建築
しゅんせつ　塗装　水道施設　解体　造園

5　従業員数　　9名

6　環境管理の責任者　　山下直希

連絡担当者　　山下享子

7　連絡先
TEL　　0537-35-2425
FAX　　0537-35-1757
E-mail　yamashitagumi@za．tnc.ne.jp

8　建設業許可　　県知事許可
許可年月日　令和3年9月30日～令和8年9月29日
・特-03 第1226号
土木　　とび・土工　石　鋼構造物　舗装
しゅんせつ　塗装　　水道施設　解体
・般-03　第1226号
建築　造園

9　事業の規模
①設立　　1971年

②事業規模

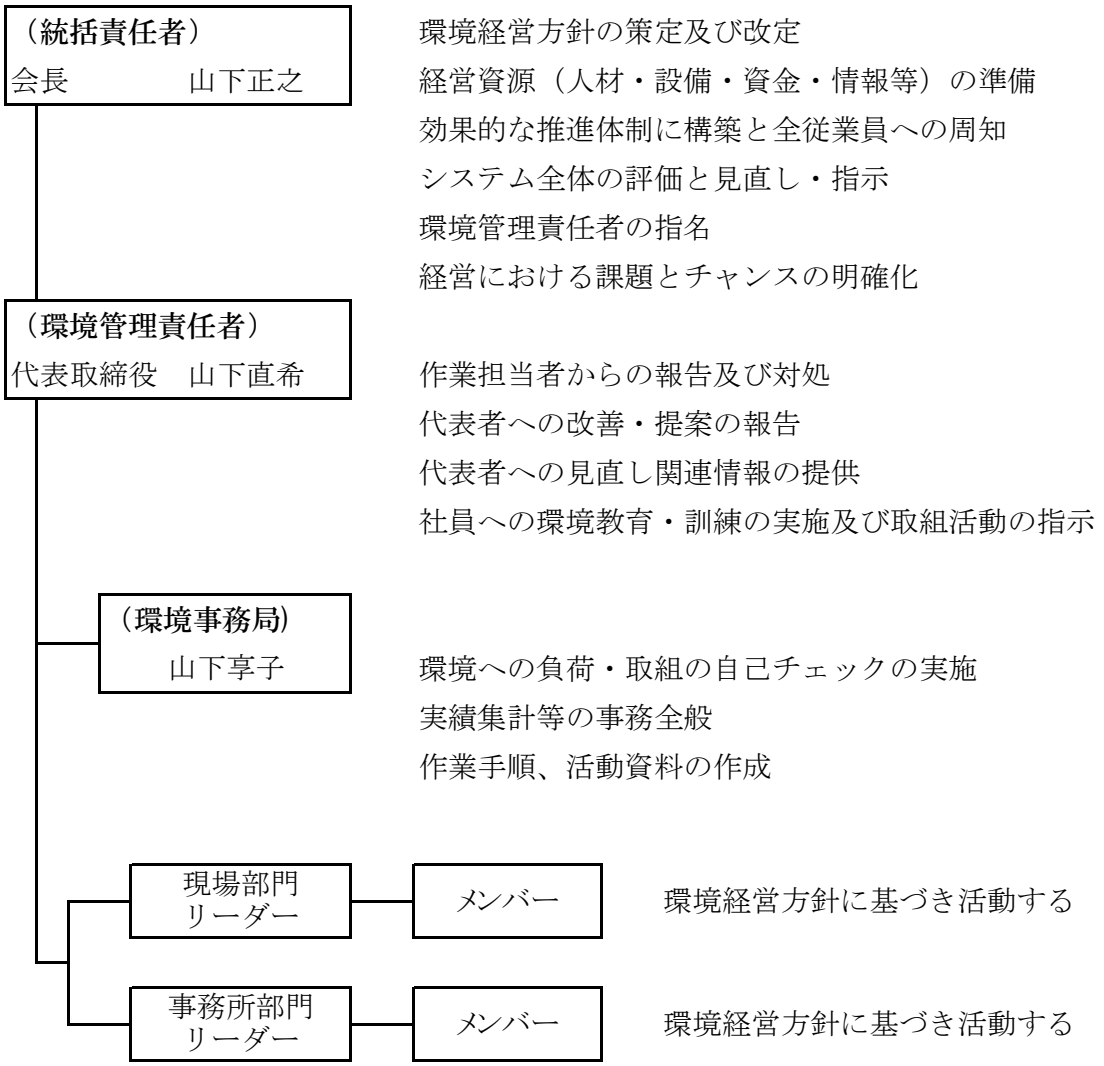
活動規模	単位	元年	2年	3年	4年	5年
売上高	百万円	205	280	232	273	353
従業員	人	8	8	8	10	9
車両台数	台	8	8	8	9	9
重機台数	台	5	5	5	5	5
床面積事業所	㎡	50	50	50	50	50
床面積倉庫	㎡	289	289	289	289	289
主要工事件数	件	22	32	36	43	42

10　事業年度　　7月1日から6月30日

11　レポートの対象期間及び発行日
環境経営レポート対象期間　　令和5年7月1日から令和6年6月30日
環境レポート発行日　　令和6年10月31日

12　認証登録の対象範囲
全組織　全活動

Ⅱ　実施体制


（統括責任者）
会長　　山下正之
環境経営方針の策定及び改定
経営資源（人材・設備・資金・情報等）の準備
効果的な推進体制に構築と全従業員への周知
システム全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者の指名
経営における課題とチャンスの明確化
（環境管理責任者）
代表取締役　山下直希
作業担当者からの報告及び対処
代表者への改善・提案の報告
代表者への見直し関連情報の提供
社員への環境教育・訓練の実施及び取組活動の指示
（環境事務局）
山下享子
環境への負荷・取組の自己チェックの実施
実績集計等の事務全般
作業手順、活動資料の作成
現場部門
リーダー
メンバー
環境経営方針に基づき活動する
事務所部門
リーダー
メンバー
環境経営方針に基づき活動する

Ⅲ.　環境経営方針

企 業 理 念

株式会社　山下組は　土木一般建設業の業務において

ますます深刻化する地球温暖化や予想される様々な資源の枯渇や

エネルギーの適正な供給への対応が重要との認識にたち

事業活動における様々な経営上の課題解決に対処し

経営改善に努力し環境負荷の低減を図り

社員一丸となって積極的に経営改善と環境保全活動に取り組みます

環境経営方針

1　二酸化炭素排出量･廃棄物排出量

　水使用量等の環境負荷の低減に努めます

2　業務活動において　ゴミを減らし　物を大切に利用します

3　廃棄物の適正な処理に努めます

4　環境関連法規等を遵守します

5　社員一人ひとりの環境に関する意識の向上に努めます

6　グリーン購入を実施します

7　環境に配慮した事業活動を推進します

8　環境経営の継続的な改善に努めます

制定　　平成20年11月　1日

改定1　　平成23年　7月　1日

改定2　　令和　1年　7月　1日

株式会社　　山　　下　　組

会　　長　　山 下 正 之

代表取締役　　山 下 直 希

Ⅳ　環　境　経　営　目　標

令和5年度目標値　（R05.07～R06.06）

項目	単位	平成19年実績 （百万円当り）	令和5年度目標 （19年比）（百万円当り）
二酸化炭素排出量	kg-CO_2	56893.0　（332.7）	-5%　316.1
購入電力	kwh	7863.0　（46.0）	-6%　43.2
ガソリン使用量	L	8765.8　（51.3）	-6%　48.2
軽油使用量	L	12700.5　（74.3）	-3%　72.1
水使用量	m^3	46	-3%　44.6
産業廃棄物排出量	t	4.4	-3%　4.3
一般廃棄物排出量	kg	52.2	-3%　50.6
グリーン購入	品目	平成28年度実績　18品目	グリーン購入推進
環境に配慮した施工の提案	件	平成29年度実績　5件	前年以上

＊　二酸化炭素排出係数は平成21年度　0.474kg-CO2/kWh

＊　当社では化学物質の使用がないことから、化学物質の目標設定はしない

＊　産業廃棄物排出量は　混廃コンテナの使用による排出量です

＊ 水使用量 産業廃棄物排出量　一般廃棄物排出量は総量です

中期目標値

項目	令和6年目標 平成19年比百万円当り	令和7年目標 平成19年比百万円当り	令和8年目標 平成19年比百万円当り
二酸化炭素排出量	-5% 316.1kg-CO_2	-5% 316.1kg-CO_2	-5% 316.1kg-CO_2
購入電力	-6% 43.2kwh	-6% 43.2kwh	-6% 43.2kwh
ガソリン使用量	-6% 48.2L	-6% 48.2L	-6% 48.2L
軽油使用料	-3% 72.1L	-3% 72.1L	-3% 72.1L
水使用量	-3% 44.6m^3	-3% 44.6m^3	-3% 44.6m^3
産業廃棄物排出量 （混廃コンテナ）	-3%	-3%	-3%
一般廃棄物排出量	-3%	-3%	-3%
グリーン購入	グリーン購入推進	グリーン購入推進	グリーン購入推進
環境に配慮した施工の提案	前年以上	前年以上	前年以上

Ⅴ. 環 境 経 営 計 画(R5.7～R6.6)及び取組結果とその評価、次年度の取組

行動指針	環境目標	目標達成のための具体的活動	推進者	活動時期(月) 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6	取組の評価	次年度の取組
CO_2削減　エネルギー節約	化石燃料の使用削減	エコドライブの周知（貼り紙・安全訓練時等）	赤堀	講習 / 講習	○	活動継続
		タイヤの空気圧チェック(市外工事給油	赤堀		○	活動継続
		不要な荷物を積まない(工事予定確認時)	赤堀		○	活動継続
	電力使用量の削減	エアコンの設定温度を守る(夏27度±1度　冬21度±1度)	山下享		○	活動継続
		不要な電力消費をなくす(貼り紙等)	山下享	注意掲示 / 注意掲示	○	活動継続
建設活動における環境負荷低減	環境に配慮した施工の提案	環境配慮製品の情報収集をする	環境管理責任者		○	活動継続
		環境負荷低減の施工方法を検討する	環境管理責任者		○	活動継続
		環境負荷低減のための残土場の提案	環境管理責任者		○	活動継続
	建設産業廃棄物の再資源化	現場での産廃の分別徹底(法遵守)	下嶋	終了時チェック	○	活動継続
	環境配慮型機械の使用	ダンプ・重機の省エネ運転(指導・貼り紙等)	下嶋	講習 / 講習	○	活動継続
	資源・資産・時間の有効活用	事務所・倉庫・現場での整理・整頓	下嶋		○	活動継続
資源を大切にします	紙・コピー用紙の使用量削減	両面使用　誤印刷をなくす（掲示）	山下享		○	活動継続
	廃棄資料の削減	必要数の把握(周知)	山下享		○	活動継続
	水使用量の削減	水漏れチェック	山下享	→	○	活動継続
		洗車時の節水(周知)	山下享		○	活動継続
	廃棄物の分別	リサイクル・処分等適性処理(周知)	山下享		○	活動継続
グリーン購入を推進します	環境配慮製品の購入	事務用品グリーン購入の推進	山下享		○	活動継続
		購入時　必要性の検討	山下享		○	活動継続
環境関連法規等を遵守します	遵守状況の確認	関連法規等の遵守(周知安全訓練等)	山下享		○	活動継続
		遵守状況点検	環境管理責任者		○	活動継続
各関連会社に環境経営方針を周知し協力を得るように努めます	新規入場者に周知	新規入場者教育	現場担当者		○	活動継続
		エコ活動の掲示	現場担当者		○	活動継続

Ⅵ　環境経営目標の実績とその評価

①運用期間（令和4年7月～令和5年6月）の環境目標の実績

項目		単位	基準期間	運用期間				
			平成19年7月～平成20年6月	令和5年7月～令和6年6月				
			基準値	目標削減率	目標値	実績削減率	実績値	評価
二酸化炭素排出量		kg－CO_2	332.7	−5%	316.1	−16.9%	276.4	○
	電力	kWh	46	−6%	43.2	−60.4	18.2	○
	ガソリン	ℓ	51.3	−6%	48.2	−61.6	19.7	○
	軽油	ℓ	74.3	−3%	72.1	15.7%	86.0	×
廃棄物	産業廃棄物混廃コンテナ	t	4.4	−3%	4.3	152.3%	11.1	×
	一般廃棄物	kg	52.2	−3%	50.6	14.1%	59.6	×
水使用量の削減		m^3	46	−3%	44.6	−13.0%	40	○
グリーン購入		品目	H28年度18品目	文具購入品・資材（砕石等）リサイクル品を購入推進活動の為　目標と実績は数値化しない				
環境に配慮した施工の提案		件	可能な範囲で提案をする			実績値　2件		○

※グリーン購入は［平成28年度］と環境配慮施工提案［令和元年度］を基準にしています

※環境に配慮した施工の提案は可能な範囲での提案とする

※二酸化炭素排出量は　97622.3kg-CO_2です

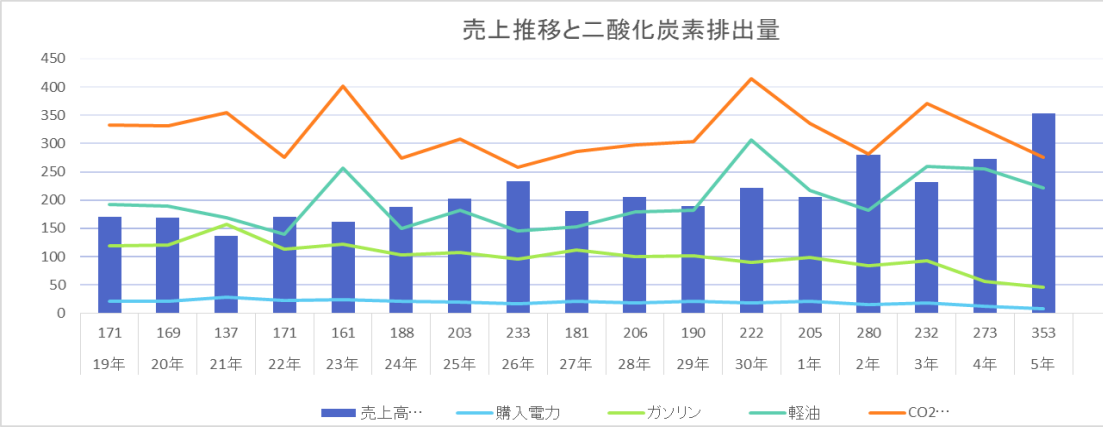
※電力総使用量は　6445.0kWhです

※ガソリン総使用量は　6965.8Lです

※軽油総使用量は　30390.2Lです

目標未達成項目の予防処置

目標未達成項目	未達成の原因	今後の予防処置
軽油	売上高が増えたこと　重機を長時間使用する工事が重なり、軽油使用量の増加になりました	重機・ダンプのエコ運転の確認と実施の継続　環境負荷低減の工事に努めます
産業廃棄物 混廃コンテナ	コンテナの設置数が増えた	現場での混廃コンテナ内、再度分別の徹底を行い廃棄物を減らします
一般廃棄物	余分な印刷物の受取が目立ちました	余分な受取　誤印刷を減らすこと



②次年度の環境経営目標　　中期目標値と同じ

Ⅶ. 当社の取組み

2

CO 削減エネルギー節約

環境に配慮した重機を使用

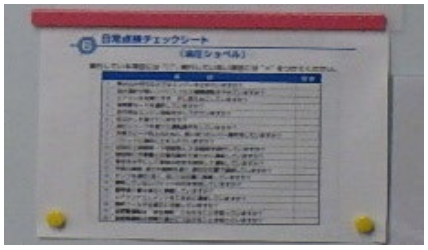
LEDライト取付

資源を大切にします

紙使用量削減

水使用量の削減

建設活動における環境負荷低減



ダンプ重機省エネ運転

現場での資源分別

Ⅶ. 当社の取組み

環境関連法規等を遵守します

安全訓練

朝礼・掲示等で活動の周知確認

省エネ・廃棄物削減（SDGs）

グリーン購入

グリーン商品お買い上げ実績

	全　体	グリーン商品
購入額（税込）	8,130	8,130

グリーン商品お買い上げ実績

	全　体	グリーン商品
購入額（税込）	6,436	6,436

グリーンマーク品の購入

環境に配慮した事業活動を推進します

地域貢献
美化運動

働き方改革　作業の効率化

Ⅷ　環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1　環境関連法規の遵守状況、
当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果　違反は
ありませんでした

評価日　令和6年8月30日
評価者　環境管理責任者　山下直希

適用対象	法規・条例・規制	摘要内容又は規制基準値	備考	遵守状況
建設業・土木工事施工者	建設リサイクル法	分別解体の実施 建設廃棄物の再資源化	再資源化等の実績記録の作成・報告・保管義務	○
	建設業法	建設現場の環境配慮対応	環境問題の未然防止	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の収集・運搬及び処分業者との委託契約	契約書締結　許可証確認	○
		電子マニフェスト	排出後3日内に入力処理	○
		マニフェストの保管・管理	A票B2票D票E票　保管5年間	○
		マニフェストの交付状況報告	交付等状況報告書　毎年6.30まで	○
		マニフェストの期間内返却の確認	B_2票D票90日以内　E票180日以内の返却確認	○
		投棄禁止	不法投棄を行わない	○
		廃棄物の悪臭･飛散防止	仮置場や車両荷台を養生シートで覆う等	○
		産業廃棄物保管場所への掲示板の設置	掲示板の大きさ　縦横60cm以上	○
	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第82条産業廃棄物管理責任者の設置		○
		第10条委託先の実地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	○
	騒音規制法	特定建設作業・適用指定地域	知事へ7日前までに届け出　作業敷地境界にて85デシベル以下	—
	振動規制法	特定建設作業・適用指定地域	知事へ7日前までに届け出　作業敷地境界にて75デシベル以下	—
	静岡県生活環境の保全等に関する条例	特定建設作業・適用指定地域	知事へ7日前までに届け出	—
	オフロード法	特定特殊自動車に使用	事業者は基準適合表示等が付された特定特殊自動車でなければ使用してはならない	○
			排出ガスの排出量を増加させない燃料の使用点検整備の実施	○
	家電リサイクル法	指定家電の適正処分	冷蔵庫　エアコン等	—
	資源有効利用促進法	建設副産物の再資源化 OA機器の適正処分	コンクリート アスファルト廃材 廃木材等 PC　モニター他	○
事業者全般	環境基本法	環境負荷低減		○
	地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	排出抑制に努めると共に自治体施策への協力	○
	自動車リサイクル法	引き取り業者への受け渡し	リサイクル料金の支払い	○
	消防法（危険物の取扱）	火災の予防	危険物施設・物品の取扱と火災予防対応	○
	フロン排出抑制法	冷凍空調機器：すべての第一種特定機器が対象 自身での簡易点検　3か月に一回以上実施 電動機定格出力に応じ有資格者による定期点検	企業　法人の管理者が確認	○
	下水道法	有害物質・油脂類の排水厳禁	排水に注意する	○

2　違反 訴訟等の有無
関係機関からの指摘 利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした

Ⅸ　代表者による全体の評価と見直し・指示

1 見直し関連情報　　必要に応じてコメント

1	エコアクション21文書	レ	エコアクション21ガイドライン2017年版により作成しました
2	環境経営目標及び目標達成状況	レ	未達事項の目標達成にむけて　各活動を展開します（P8目標未達の項目の予防措置）
3	環境経営計画及び取組実施状況	レ	全員参加の活動を継続します
4	環境関連法規要求及び遵守状況	レ	環境関連法規への違反はありませんでした
5	外部コミニュケーション・対応記録	レ	関係当局よりの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。 外部苦情等もありません
6	問題点の是正・予防措置の状況	レ	特になし
7	取引先　業界　関係行政機関 その他の外部動向	レ	継続して取り組みます
8	その他	レ	特になし

2 代表者による全体評価・見直し指示

今年度は売上高が8千万円増加になりました　発注が減少している中　官・民の下請の受注を伸ばすことができました　環境負荷については　軽油・ガソリンの使用量が増加しました　軽油は　昼夜の発電機の使用[発電機による水替]ダンプ運搬、重機の使用　ガソリンは　現場への通勤距離の増と思われます　工事内容によりますが削減のためには　工事日数の短縮　をすることだと思います　事業活動においては　これから工事発注の減少　工事期間の長期化　資材の高騰は続くと思われますが　受注を増やし　環境対策に考慮し　社内においては安全教育、 現場の安全管理、 健康管理を十分に行いエコ活動の継続・結果向上に努力していきます

株式会社　山下組
会長　山下正之
令和6年10月23日

変更の必要性

	見直し項目	変更の必要性	有の場合の指示事項
1	環境経営方針	有　(無)	
2	環境経営目標	有　(無)	
3	環境経営計画	有　(無)	
4	環境に関する組織	有　(無)	
5	その他のシステム要素	有　(無)	
6	その他（外部への対応）	有　(無)	